

公衆衛生看護管理論

保健師コース必修

開講年次：4年次後期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：地域で生活している人々の健康と生活をより良い状態に維持・向上するために、地域の人々や関係者と協働して行う地域保健活動を効果的かつ円滑に遂行するために行う基本的な管理機能を学習する。

- 到達目標**：①公衆衛生看護管理機能の定義と特徴を述べることができる。
②地区管理、事例管理、事業・業務管理、情報管理、予算管理、健康危機管理の基本的な管理機能を述べる
ことができる。
③地域ケアの質の保証のための具体的な方法を考えることができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎喜多 歳子・本田 光・櫻井 繭子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 公衆衛生看護管理機能の定義と基本的な管理機能
第2回 地域ケアの質の管理—道立保健所の組織と機能
第3回 保健師活動指針と公衆衛生看護管理機能
第4回 産業保健における管理機能
第5回 地域ケアの質の保証—社会資源の評価と開発
第6回 地域包括ケアシステムの構築における保健師の役割
第7回 地域ケアシステムづくり—地域会議の企画
第8回 公衆衛生看護管理機能の意義

■**教科書**：「保健師業務要覧第3版」／井伊久美子 他編集（日本看護協会出版会）
「標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論」／奥山則子他（医学書院）

■**参考文献**：「最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論」／平野かよ子編集（メジカルフレンド社）
「公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術」／佐伯和子他編集（医歯薬出版株式会社）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業内小テスト	◎	◎		60%以上を正解していること。	40
レポート課題	○	○	◎	課題を提出していること。課題の内容が基準を満たしていること。	40
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢。	20

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護技術論、ヘルスプロモーション看護論、公衆衛生看護学援助論I・II、保健福祉行政論など

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：保健師コースの最終的なまとめの授業になります。4年前期の公衆衛生臨地実習での学習も含めて総合的に公衆衛生看護活動の理解を深めていきます。教科書を事前に読んで予習をして積極的に授業に参加して下さい。また、新たな概念や理解があいまいな部分は各自復習をして下さい。授業内小テストを実施しますので、日々の授業にしっかり臨んで下さい。